



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
コード番号 9723 URL <https://www.kyotohotel.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 博
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 井手 章（TEL）075(211)5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	7,429	4.8	999	11.6	859	9.6	1,125	32.5
2025年3月期第3四半期	7,090	2.3	895	1.9	784	1.6	849	11.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	90.81	—
2025年3月期第3四半期	67.93	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	17,194	3,709	21.6
2025年3月期	16,627	2,660	16.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 3,709百万円 2025年3月期 2,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期（予想）				3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,600	2.6	1,000	9.1	800	18.3	800	3.7	62.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（2026年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	12,065,400株	2025年3月期	12,065,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	242株	2025年3月期	242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	12,065,158株	2025年3月期3Q	12,065,158株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たりの配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 40,113.97	円 銭 40,113.97
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)				40,000.00	40,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資が持ち直し、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の通商政策や地政学リスクの影響、ならびに物価上昇継続による個人消費の下振れの懸念など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

京都のホテル業界におきましては、円安や規制緩和を背景に訪日外国人観光客が増加しているほか、企業を中心とした宴会需要も回復傾向にあります。一方で、中国を巡る地政学的緊張の高まりを受け、訪日中国人客の減少が続く可能性があり、これに伴う需要低下や客単価の下落、さらに値引き競争の激化といったリスクが懸念されております。

このような状況下、当社におきましては、積極的なセールス活動を展開し、当社の強みを訴求することで新規顧客獲得および売上向上につとめてまいりました。また、既存の顧客基盤に支えられ、安定的な売上確保にも注力いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,429百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益999百万円(前年同期比11.6%増)、経常利益859百万円(前年同期比9.6%増)、税効果会計の影響により四半期純利益は1,125百万円(前年同期比32.5%増)となりました。

ホテルの部門別営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

ホテルオークラ京都では、オークラニッコーホテルズの会員による予約は好調に推移したものの、国内および海外からの個人旅行は微減となりました。一方、団体旅行は、国内・海外ともに好調に推移しました。

からすま京都ホテルでは、国内・海外からの団体旅行は減少したものの、国内・海外の個人旅行は、安定的に推移し、売上に大きく寄与いたしました。

この結果、宿泊部門の売上高は3,309百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

(宴会部門)

ホテルオークラ京都では、受注件数は前年を下回ったものの、大型の国際会議等を受注したことにより、売上高は大幅に増加しました。また、ブライダル部門においては、市場規模が縮小する厳しい環境下においても、前年をわずかに上回る受注を確保できました。

からすま京都ホテルでは、恒例案件を基軸としながら、新規案件の受注につとめました。さらに新規イベントの開催を中心とした集客施策により、売上高が増加しました。

この結果、宴会部門の売上高は、2,155百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

(レストラン部門)

ホテルオークラ京都では、トップラウンジ「オリゾンテ」、カフェ「レックコート」、バー「チップペンデル」が堅調に推移し、集客および売上高は前年を上回りました。一方で、鉄板焼「ときわ」、京料理「入舟」、中国料理「桃李」は、前年を下回る結果となりました。

からすま京都ホテルでは、営業調整を解除した中国料理「桃李」は、昼の時間帯の集客については好調を維持しつつも、夜の時間帯の集客が振るわず、売上高は前年を下回る結果となりました。バー「アンカー」においても、営業調整を解除したものの、集客は前年並で推移しました。

この結果、レストラン部門の売上高は、1,562百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

(その他部門)

ホテルオークラ京都では、一部テナントの退店等の影響により、賃貸料収入が減少いたしました。

この結果、その他部門の売上高は、403百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	3,309,199	44.5	3.3
宴会部門	2,155,035	29.0	15.2
レストラン部門	1,562,122	21.0	△2.8
その他部門	403,507	5.4	△1.5
合計	7,429,865	100.0	4.8

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ567百万円増加し、17,194百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ482百万円減少し、13,485百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1,049百万円増加し、3,709百万円となり、自己資本比率は21.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

2026年3月期の第3四半期におきましては、当初の想定を上回る業績回復を背景として、繰延税金資産の回収可能性の見直しを実施した結果、2026年3月期の第3四半期会計期間末に繰延税金資産を追加で計上し、当第3四半期累計期間の四半期純利益が増加しております。

なお、当該繰延税金資産の一部は、2026年3月期の期末に取り崩される見込みであり、通期業績予想は修正後の金額に着地する見通しであります。したがって、2026年3月期の第3四半期累計期間における四半期純利益の増加は一時的なものであることにご留意ください。

通期業績予想の詳細につきましては、本日（2026年2月12日）に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477,930	4,018,581
売掛金	527,951	568,896
原材料及び貯蔵品	68,074	104,744
前払費用	37,342	33,037
その他	10,972	17,576
貸倒引当金	△137	△60
流動資産合計	4,122,135	4,742,776
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,849,735	6,444,307
構築物（純額）	12,748	11,762
機械装置及び運搬具（純額）	70,834	59,222
器具及び備品（純額）	143,196	139,515
土地	4,889,637	4,889,637
リース資産（純額）	87,455	79,223
建設仮勘定	—	44,000
有形固定資産合計	12,053,607	11,667,668
無形固定資産		
ソフトウェア	4,078	40,476
リース資産	47,131	39,676
電話加入権	4,197	4,197
無形固定資産合計	55,407	84,350
投資その他の資産		
投資有価証券	5,314	5,314
長期前払費用	6,302	6,281
前払年金費用	77,218	107,903
差入保証金	52,032	52,084
繰延税金資産	241,032	513,727
その他	14,630	14,730
投資その他の資産合計	396,530	700,041
固定資産合計	12,505,546	12,452,060
資産合計	16,627,681	17,194,836

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,327	256,475
1年内償還予定の社債	64,000	64,000
1年内返済予定の長期借入金	460,000	460,000
リース債務	33,861	36,164
未払金	646,997	461,480
未払費用	85,225	103,056
未払法人税等	4,990	3,742
前受金	129,393	98,254
預り金	62,628	63,202
前受収益	47,420	59,847
賞与引当金	71,490	—
その他	4,512	8,909
流動負債合計	1,745,847	1,615,132
固定負債		
社債	936,000	904,000
長期借入金	10,640,000	10,295,000
リース債務	116,020	97,183
長期末払金	33,576	74,322
長期預り保証金	495,932	499,432
固定負債合計	12,221,528	11,869,937
負債合計	13,967,375	13,485,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
その他資本剰余金	929,635	929,635
資本剰余金合計	954,635	954,635
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,605,850	2,655,311
利益剰余金合計	1,605,850	2,655,311
自己株式	△180	△180
株主資本合計	2,660,305	3,709,766
純資産合計	2,660,305	3,709,766
負債純資産合計	16,627,681	17,194,836

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,090,136	7,429,865
売上原価	1,024,028	1,108,561
売上総利益	6,066,107	6,321,303
販売費及び一般管理費	5,170,790	5,322,215
営業利益	895,317	999,087
営業外収益		
受取利息	146	662
利子補給金	7,534	—
受取手数料	2,259	2,617
基地局設置手数料	2,509	2,509
受取保険金	1,984	2,053
その他	6,215	5,956
営業外収益合計	20,649	13,799
営業外費用		
支払利息	122,898	150,712
支払手数料	7,228	1,836
その他	1,320	473
営業外費用合計	131,446	153,022
経常利益	784,520	859,864
特別損失		
固定資産除却損	1,894	2,985
特別損失合計	1,894	2,985
税引前四半期純利益	782,625	856,879
法人税、住民税及び事業税	3,754	3,803
法人税等調整額	△70,954	△272,694
法人税等合計	△67,200	△268,891
四半期純利益	849,825	1,125,770

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、内外顧客の宿泊、宴会、レストラン等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社は、内外顧客の宿泊、宴会、レストラン等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	521,866千円	524,175千円